

平成31年4月15日

報道 各位

島根県美郷町

島根県美郷町と公立鳥取環境大学重田研究室及び株式会社テクノシステムとの包括的連携に関する協定の締結について（ご案内）

この度以下のとおり協定を締結することとなりましたのでご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成31年4月24日（水曜日） 午前9時30分～10時00分
2. 場 所 美郷町粕渕 美郷町役場2階 多目的室
3. 出席者 公立鳥取環境大学 准教授 重田 祥範
株式会社テクノシステム 代表取締役 日野 幹雄
美郷町 町長 嘉戸 隆
4. 式内容 協定書の概要・趣旨説明
協定書への署名、写真撮影、挨拶ほか
5. 協定内容 （1）学術研究 （2）研究成果の実用化とその普及啓発、情報発信
（3）人材育成 （4）産業振興 （5）教育・文化の振興
6. 協定締結の経緯

美郷町では平成27年度より防災対策として高密度気象観測システム「POTEKA」（ポテカ）を設置。現在町内7カ所の観測データを、WEB・アプリで公開していますが、防災だけでなく農業や観光目的にも利用したいと考えていました。

POTEKA の代理店である株式会社テクノシステムにおいても、中国地域産学官連携コンソーシアム事業により、気象学専門の鳥取環境大学重田准教授と連携し、この観測データを有効活し地域活性化に繋がる研究題材を模索されていました。

こうした中、美郷町では春秋と発生する雲海を観光コンテンツの一つとして着目。自然現象である雲海の発生を事前予測する「雲海予報」があれば、多くの人に美郷町を訪れてもらえるのではないかと考えました。

また美肌に着目し、美肌県美肌町を掲げた取り組みを検討しており、雲海が発生しやすい美郷町の気候は美肌にも通じる研究ができないか検討していたところ、これらに賛同した大学とそのデータ・機材を提供する企業がコラボした産学官の取り組みがスタートすることになりました。

大学側は、今回の協定締結により、美郷町の自然や施設を利用して学生のフィールドワークの場として活用し、またSDGsの趣旨にそった取り組みとして期待されています。株式会社テクノシステムは、人材発掘やビジネスチャンスの発掘などのメリットが、これら三者が連携することにより関係人口が拡大し、持続可能な地域社会を目指した、取り組みを進めるため今回の包括的連携協定締結に至りました。

7. 今後の予定 雲海予報システムの研究・開発・運用（4月～ 随時）
鳥取環境大学学生のフィールドワーク（10月、11月）
産業祭への参加（駕籠かき、成果発表ブース（仮））

【問い合わせ先】

美郷町役場産業振興課

担当：山根

電話 0855 - 75 - 1214

Yamane-keiji@town.shimane-misato.lg.jp